

## 裁判所前座り込み 連日 100 名を超える参加者 不当解雇撤回！ 高裁は公正な判断を！



4日間で 500 名が参加

### リレートーク 東京高裁は公正な判決を！ と訴え

東京高裁は公正な判断を示せ！ JAL 原告団と国民支援共闘は、1月17日から22日までの土・日を除く4日間、東京高裁前にて座り込みを実施しました。

座り込みの参加者は連日100名を超え、4日間で延べ500名を超える参加となり、不当解雇撤回を求める声の大きさを東京高裁に向けてアピールすることができました。

座り込み行動では原告と支援に駆けつけてくれた多くの団体の代表者らが次々とリレートーク。解雇の不当性をアピールするとともに、高裁に公正な判断を求める訴えが続きました。

### メッセージに差し入れ、そして… 多くの方から、様々な激励が届きました

座り込みには、多くの激励が届けられました。寄せられた激励のメッセージについては、マイク宣伝の合間を利用し、それぞれ紹介させていただきました。また届けられた

様々な差し入れは、参加者の身体も心も温めてくれました。また道行く多くの方に、頑張れ！と声を掛けて頂きました。

4日間の行動で配布したビラは3,450枚、寄せられたカンパは157,000円、そして500筆の個人署名も集めることが、できました。本当にありがとうございました。

### サー！ 勝利判決に向け全力ダッシュ！

最終日の22日、行動最後のあいさつに立った国民共闘の共同代表 金澤壽全労協議長は、参加へのお礼を述べるとともに「安倍雇用破壊とJAL不当解雇は密接に関連する問題」「雇用破壊を許さず必ず不当解雇を撤回しよう」「今回の座り込みは第1弾。より大きな座り込み行動等を3～4月に計画する」「さらに大きな運動で勝利判決勝ち取ろう」と訴えました。

最後に、山口団長が原告を代表して「判決日に向けて全力で闘い、不当な解雇は必ず撤回する」と決意表明。そして山口団長の音頭で、裁判所に向けてシュプレヒコールをし、4日間の行動を閉めました。